
君に花束を贈ろう

山羊ノ宮

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

君に花束を贈ろう

【Nコード】

N7797J

【作者名】

山羊ノ宮

【あらすじ】

君に花束を贈ろう。
そんな感じの詩です。

君に花束を贈ろう

馴れないものだから、少し気恥ずかしくて
透明人間の視線を気にしてしまう

マーガレット

放射状にのびる花弁

花屋の店員さんを選んでもらったものは、少しピンクがかったいる
花言葉は『誠実』

走りたくなる衝動

けれど、花の香に心落ち着かせ
君の元へ

ピンクのバラ

つぼみが少し開いたような形

この花があるだけで、花束って感じがする
僕の自己満足だけれど

花言葉は『気品』

インターホンを押すと君の声

どたばたと物音

はやる気持ちは僕だけじゃない
大丈夫、僕は逃げたりしないよ
だから、少し落ち着いて

かすみ草

可愛らしい白い小さな花がたくさん咲いている
予算の関係で少しだけ多めに
花言葉は『純真なる思い』

そして、君は慌てて僕の前に現れる

君に花束を贈ろう

君は驚いて、それから

笑顔の花が咲いた

僕が一番好きな花だ

温かくて、見ているだけで幸せになれる花

世界中のどんな花よりも綺麗な花

花言葉は

『君といつまでも一緒に』

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7797j/>

君に花束を贈ろう

2010年10月12日02時34分発行